静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を実施する予定です。本研究は通常の診療で既に得られた情報のみを用いるため、対象となる方お一人ずつから文書による同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、研究への利用を希望されない場合にお申し出いただける機会を設けます。

診療情報の利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。お申し出によって、今後の診療その他で不利益を受けることはありません。

承認番号／研究課題名	承認番号：[承認後に記入] 研究課題名：裂孔原性網膜剥離眼における眼生体計測および白内障硝子体同時手術後の屈折予測精度に関する後ろ向き研究
当院の実施責任者および職名	静岡赤十字病院　眼科　副部長　松岡貴大
多機関共同研究	該当しません（静岡赤十字病院のみで実施します）。
研究期間・利用開始予定日	情報公開開始日：[倫理審査・病院長許可後に記入] 診療情報の利用開始予定日：[情報公開後、院内規程または倫理審査委員会が認めた日を記入] 研究実施期間：病院長許可日～2029 年 3 月 31 日
対象となる診療期間	対象手術期間：2020 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 利用する診療情報の期間：2020 年 4 月 1 日～2026 年 7 月 29 日
研究の目的	裂孔原性網膜剥離に対する白内障硝子体同時手術後の屈折予測精度を調べ、眼生体計測や網膜裂孔の位置など、予測誤差に関連する因子を明らかにすることです。
研究の内容	対象：上記期間に当院で裂孔原性網膜剥離に対して白内障硝子体手術を同時に受けた方 利用する情報：年齢、性別、患眼、手術日、眼科既往、網膜剥離・裂孔の所見、黄斑状態、術前眼圧、患眼および僚眼の眼生体計測値、使用機器、IOL 計算式・種類・度数・予定屈折値、手術内容・合併症、術後屈折、網膜復位、再剥離、追加手術および IOL 位置等。 方法：新たな検査・治療・採血は行わず、診療録等から取得した情報を統計的に解析します。術後屈折は術後 14～120 日の測定値から術後 30 日に最も近い値を用い、同距離の場合は後日の値を用います。下方裂孔は 4 時から 8 時までに 1 個以上の網膜裂孔がある場合と定義します。 利用する者：松岡貴大、橋爪衛、山田亮佑、田中祐介、佐々木健人の 5 名。 外部提供：個票情報を他機関または外国へ提供しません。

個人情報の取扱い	診療情報には研究 ID を付け、研究用データから氏名、院内患者 ID、生年月日等の直接識別子を除きます。研究 ID と院内患者 ID の対応表は研究用データとは分け、院内のアクセス制限された環境で管理します。研究用データと対応表にアクセスできる者は上記研究者 5 名に限定します。承認後に正式に実施する本研究では、個票データを外部クラウド、外部生成 AI サービスまたは個人端末へ保存・送信せず、他機関または外国へ提供しません。研究責任者は松岡貴大です。研究資料は研究終了報告日から 5 年間保存し、その後は復元できない方法で消去・廃棄します。結果は個人を特定できない集計形式で学会・論文に公表することがあります。 研究利用を希望されない場合は下記へお申し出ください。原則として利用を停止しますが、既に個人を識別できない集計結果として公表済みの場合など、対応できないことがあります。研究計画書は、他の患者さんの個人情報および研究の独創性を損なわない範囲で閲覧できます。 本研究への企業等からの研究費、機器貸与、解析支援はなく、院内規程上、開示すべき利益相反はありません。
問い合わせ先／拒否受付窓口	【研究責任者・拒否受付窓口】 所属：静岡赤十字病院　眼科　副部長　松岡貴大 氏名：松岡 貴大 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311（代表） 受付時に、氏名、診察券番号および研究利用を希望しない旨をお伝えください。